

令和2年度 事業報告

社会福祉法人
筑紫野市社会福祉協議会

社会福祉法人筑紫野市社会福祉協議会

令和２年度事業報告（主文）

『みなさん一人ひとりが福祉の主役』

令和２年度（２０２０年）日本国内は、東京オリンピック・パラリンピックに大きく沸くはずであったが、新型コロナウイルス感染拡大で延期となり、パンデミックは社会システムや人々の生活に大きな影響を及ぼすこととなった。

福岡県内においても医療機関や、福祉施設・事業所において集団感染が発生し事業継続が困難となる事例も相次ぐなか、当協議会においては国・県・市等の財政支援を受けながら、マスク等の衛生用品の優先確保、職員への慰労金の支給などを行い、３密対策や感染症予防を徹底して、各種福祉事業を継続することができた。

また、コロナ禍による経済活動自粛等にもなう失業や、休業等を背景にした生活困窮世帯が急増し、そうした市民の継続的な支援が喫緊の課題となるなか全国の市町村社会福祉協会が受付窓口となり、生活福祉資金（緊急小口資金、総合支援資金）の特例貸付けが開始された。筑紫野市においても、当協議会が窓口となり１，２６９件 総額５２３，１６０千円が貸し出された。

令和２年度事業計画の重点目標に掲げた、地域包括ケアシステムづくりに向けた生活支援体制整備事業の継続と強化については、筑紫野市関係各課との協働により、各コミュニティ運営協議会や関係機関団体等に対しての学習会を開催し、支え合いの地域づくりの重要性を認識してもらうことができた。また、御笠コミュニティにおける地域版社会資源情報紙の作成支援を行うことにより、地域包括ケアシステムの推進に取り組むことができた。

結びに、ワクチン接種など明るいニュースが増えてきてはいるが、いつになればもとの生活に戻れるのか、不透明な状態にある地域住民の繋がりを途切れさせず、一人ひとりに寄り添える社会福祉協議会であることを誓い、令和２年度事業報告（主文）とする。

【1】事業内容（総務担当）

1 理事会の開催

実 施 日	回 数	主 な 議 題
5 月 27 日	1	・次期理事候補者の推薦について ・次期評議員選任候補者の推薦について ・次期評議員選任・解任委員会委員の選任について ・令和2年度第1回評議員会の招集について ・令和元年度事業報告及び決算について
10 月 14 日	2	・次期理事候補者の推薦について ・令和2年度第2回評議員会の招集について
12 月 9 日	3	・次期評議員選任候補者の推薦について ・令和2年度第3回評議員会の招集について ・職員給与規程の一部改正について ・令和2年度第1回補正予算について
2 月 17 日	4	・令和3年度事業計画について ・令和2年度第3回評議員会の招集について ・「天拝いこいの館」の運営について
3 月 18 日	5	・公益事業用財産の譲渡について ・定款の一部変更について ・事務局規程の一部改正について ・職員給与規程の一部改正について ・役員、評議員及び各種委員の報酬等に関する規程の一部改正について ・退職金給付規程の一部改正について ・複合機1台リース契約について ・令和3年度役員等賠償責任保険契約の締結について ・令和2年度第4回評議員会の招集について ・令和2年度第2回補正予算について ・令和3年度予算について

2 評議員会の開催

実 施 日	回 数	主 な 議 題
6 月 17 日	1	・理事の選任について ・令和元年度事業報告及び決算について
12 月 18 日	2	・理事の選任について ・令和2年度第1回補正予算について
3 月 3 日	3	・令和3年度事業計画について ・「天拝いこいの館」の運営について

実 施 日	回 数	主 な 議 題
3 月 29 日	4	・公益事業用財産の譲渡について ・定款の一部変更について ・役員、評議員及び各種委員の報酬等に関する規程の一部改正について ・令和2年度第2回補正予算について ・令和3年度予算について

3 専門委員会の開催

実 施 日	回 数	主 な 協 議 事 項
6 月 3 日	1	・評議員の選任について（評議員選任・解任委員会）
12 月 9 日	1	・評議員の選任について（評議員選任・解任委員会）

4 福祉会員加入の促進

年 度 区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)
一般会員 (1口、250円)	13,809	3,450,623	13,682	3,420,666	14,350	3,587,715
賛助会員 (1口、2,000円)	298	596,000	348	696,000	341	682,000
特別会員 (1口、5,000円)	130	650,000	187	935,000	195	975,000
合 計	14,237	4,696,623	14,217	5,051,666	14,886	5,244,715

5 寄付金の状況

年 度 区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)
一般寄付	12	471,299	20	687,300	14	519,728
香典返し	11	772,596	10	1,750,000	18	895,000
指定寄付	2	70,000	2	150,000	10	628,500
合 計	25	1,313,895	32	2,587,300	42	2,043,228

6 貸付事業

年 度 区 分	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
生活福祉資金貸付（件）	1,327	111	91

7 老人福祉センターの運営（利用状況）

年 度 項 目	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
利用者総数（名）	32,037	61,874	68,759

※令和 2 年 3 月 3 日から 6 月 1 日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のためのカミィリヤ休館に伴い老人福祉センターも休館。

8 共同募金事業への協力

年 度 募金実績額	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
戸別募金（円）	10,268,305	9,966,765	10,239,921
法人募金（円）	2,178,195	2,225,629	2,221,691
イベント募金（円）	0	555,280	413,643
そ の 他（円）	2,131,041	2,402,683	2,623,349
合 計（円）	14,577,541	15,150,357	15,498,604

※ 上記表中その他の内容 ⇨ 職域募金、募金箱募金、自販機収入、街頭募金
団体募金、個人募金、学校募金

9 機関誌（福祉だより）の発行

- ・ 4 回発行 全戸配布

10 その他

- ・ 研 修 ⇨ 12 月 4 日 市区町村社協会長・局長研修
- ・ 実習受入 ⇨ 8 月 17 日～9 月 17 日 社会福祉援助技術現場実習（大学生 4 名）

【2】事業内容（地域福祉担当）

1 ふれあいいきいきサロン活動の支援・助成

- ・ 実施箇所 90 箇所
 - 高齢者サロン 71 箇所
 - ※コミュニティ毎内訳

二日市	19 箇所	山口	6 箇所
二日市東	10 箇所	筑紫	9 箇所
山家	8 箇所	筑紫南	6 箇所
御笠	13 箇所		
 - 子育てサロン 13 箇所
 - ※コミュニティ毎内訳

二日市	3 箇所	筑紫	6 箇所
二日市東	2 箇所	筑紫南	2 箇所
 - 障がい者サロン 3 箇所（いずれも二日市地区）

助成箇所 84 箇所

- ・ サロン訪問支援回数 延べ 28 回
- ・ レクリエーション用具の貸し出し 延べ 251 件

2 ふれあいいきいきサロン連絡会

10月28日（水）参加者 29 名

- ・ テーマ「サロン代表者新任連絡会」 14:30～
- 講師 筑紫野市社協地域福祉担当

3 福祉委員制度の推進

- ・ 実施日 ⇄ 通年
- ・ 研修等

1. 第1回研修会

テーマ 「福祉委員と民生委員・児童委員の情報交換会」

①対象 山口コミュニティエリア

実施日 令和2年7月17日（金）13:30～

会場 カミーリヤ視聴覚室

参加者 福祉委員23名、民生委員児童委員10名

②対象 御笠コミュニティエリア

実施日 令和2年7月13日（月）10:00～

会場 カミーリヤ多目的ホール

参加者 福祉委員21名、民生委員児童委員15名

③対象 筑紫南コミュニティエリア

実施日 令和2年7月17日（金）10:00～

会場 カミーリヤ視聴覚室

参加者 福祉委員10名、民生委員児童委員13名

④対 象 筑紫・山家コミュニティエリア

実施日 令和2年7月13日（月）13:30～

会 場 カミーリヤ視聴覚室・多目的ホール

参加者 福祉委員45名、民生委員児童委員19名

2. 他行政区の福祉委員との情報交換会

①対 象 二日市コミュニティエリア

実施日 令和3年3月16日（火）①10:00～②13:30～

会 場 カミーリヤ研修室・介護研修室

参加者 福祉委員26名

②対 象 二日市東コミュニティエリア

実施日 令和3年3月19日（金）①10:00～②13:30～

会 場 カミーリヤ学習室・栄養健康指導室

参加者 福祉委員21名

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
福 祉 委 員 数 (名)	190	187	190
福祉委員設置済行政区数	77	76	77

※ 数字は、毎年3月末日の実績です。

4 筑紫野市民生委員児童委員連合会への協力・支援

民生委員児童委員、主任児童委員が、地域福祉の担い手として十分に実践活動を行うことが出来るよう研修会の開催や関係機関との連絡調整、組織運営のための理事会、定例会、部会の開催支援を行った。

5 介護者のつどいの開催

- ・ 内 容 筑紫野市及び近郊に在住の介護者同士の介護に関する情報交換や交流の場として、筑紫野市介護を考える家族の会と協働で介護者のつどいを開催。
- ・ 実施日 ⇨
 - ① 5月12日 … 緊急事態宣言発令中のため中止
 - ② 9月8日 … 参加者36名
「オトコの介護～オトンとボクと時々オカン～」
講師：西日本新聞社論説委員 藤崎 真二 氏
 - ③ 11月17日 … 参加者60名
「認知症であろうとなかろうと繋がり合えるまちづくり」
講師：社会福祉法人東翔会
グループホームふぁみりえホーム長 大谷 るみ子 氏
 - ④ 2月22日 … 緊急事態宣言発令中のため中止

- 6 障がい児者クリスマス会
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- 7 手話奉仕員養成講座
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

8 分野別入門ボランティア講座

①入門拡大写本ボランティア講座

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②入門点字ボランティア講座

- ・ 実施日⇨9月9日、16日（水）
- ・ 参加者⇨2名
- ・ 内 容⇨点字の基礎と初歩的な点訳技術を習得し、視覚障がいに対する理解を深めることを目的とする
講師：筑紫野市点字教室

③入門朗読ボランティア講座

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

9 ボランティア活動保険加入助成事業

項 目 \ 年 度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
加 入 者 数	916名	1,760名	1,853名

10 子育て講座

「ママのためのHAPPY子育て講座」

- ・実施日⇨7月18日
- ・参加者⇨9名（託児11名）
- ・内容 【1部】「♥心のゆとりを持てる子育てのヒントとコツ」
講師 親業訓練インストラクター
ちくしの子育ち応援団はっぴい 高橋 京子 氏
- 【2部】「針も糸も使わないUN-DECORのお名前ロゼット」
講師 おひるねアート協会/ UN-DECOR 認定講師 田川 菊乃 氏

- 11 ちくしの子育てサロン「ふれんずひろば」
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- 12 サマーボランティアスクール
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

13 福祉ボランティア団体助成事業

- ・ 実施日 ⇨ 通年
- ・ 内 容 ⇨ 福祉ボランティア団体の自主性の育成、活動の活性化の支援などのために筑紫野市ボランティア連絡協議会の加入8団体に対して、活動費等の助成を行った。

1 4 筑紫野市地域福祉計画等推進委員会の開催

- ・ 実施日 ⇨ 7月22日
- ・ 内 容 ⇨ 「第二次筑紫野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の令和元年度進捗状況について
- ・ 実施日 ⇨ 11月26日
- ・ 内 容 ⇨ 「第二次筑紫野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の改定について

1 5 生活支援体制整備事業の推進（受託事業）

高齢者等の生活支援・介護予防の提供体制の構築を目的に、ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、互助活動が活性化した地域づくりに取り組んだ。

※具体的取組（抜粋）

- ・ モデル地区（御笠コミュニティ）における地域版社会資源情報誌の作成支援
⇨ 「ちょっと困ったときの生活応援ガイド～地域のお役立ち情報誌～」の作成
- ・ 社会資源情報収集シート「すてき種」の取材件数
⇨ 上半期 11 件、下半期 16 件 計 27 件
- ・ 第一層協議体（つくしネット筑紫野）の運営
⇨ ①令和2年度方針説明及び進捗状況報告（7月29日）
②委員の取り組みを共有、担い手発掘に係る検討（11月15日）
③ 各委員個別ヒアリング実施（1～2月）
④オンライン会議（2/17・19）
- ・ 事業推進に係る各種会議等への参加
⇨ ・ 地域包括ケア推進会議（中止）
・ 自立支援型地域ケア会議（計16回）
・ 庁内担当者会議（7/15、10/29、3/29）
・ 地域包括支援センターとの連携（計6回）
・ 高齢者支援課との検討会議（計37回）
- ・ 地域包括ケアシステムの啓発（支えあい学習会）の実施等

実施日	地区・団体	参加者数
7/9	筑紫コミュニティ健康福祉部会	23
7/18	たすけ愛みなみ	20
9/9	むさしヶ丘福祉会	22
9/26	暮らしのサポート講座	22
10/1	二日市東コミュニティ健康福祉部会(拡大版)	16
10/9	山口コミュニティ元気部会(運営委員)	4
11/12	山口民生委員児童委員協議会	10
12/11	山口コミュニティ元気部会(運営委員)	8
12/15	二日市コミュニティ健康福祉部会(拡大版)	10
3/17	二日市自治公民館連絡協議会主事会	21
3/25	山口コミュニティ元気部会	20
		176

1 6 福祉機器貸出事業

- ・ 実施日 ⇄ 通年
- ・ 内 容 ⇄ 一時退院や外出される場合にご利用いただいている介護用品の無料貸し出しを行った。(※ 但し、要介護認定を受けている方は介護保険を優先させる。)

福祉機器名 \ 年 度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
車 イ ス (件)	60	93	91
浴 槽 台 (件)	2	1	1
介護支援ベッド (件)	3	9	7
浴 槽 手 す り (件)	0	2	9
歩 行 器 (件)	1	2	1
シャワーチェア (件)	4	2	6
エ ア マ ッ ト (件)	3	1	1
ポータブルトイレ (件)	3	2	13
白 杖 (件)	1		
貸 出 総 合 計 (件)	77	112	129

1 7 行事用機器貸出事業

- ・ 実施日 ⇄ 通年
- ・ 内 容 ⇄ 行事用機器の無料貸し出しを行った。

福祉機器名 \ 年 度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
綿 菓 子 機 (件)	2	18	13
ポップコーン機 (件)	1	20	19
催事用テント (件)	1	9	10
貸 出 総 合 計 (件)	4	47	32

1 8 災害支援ボランティア

- ・他市町災害ボランティアセンターへの協力支援

7月の豪雨災害

熊 本 県：ボランティアの募集範囲を県内、市町村に限られていたため不参加

大牟田市：ボランティアの募集範囲を有明圏域定住自立地域在住の方と限られていたため不参加

【3】事業内容（暮らしのサポートセンター担当）

1 暮らしのサポートセンター事業（福祉サービス利用援助事業）の推進

- ・ 内 容 ⇨ 判断能力が不十分なために日常生活に支障がある方を対象に「暮らしのサポートセンター」による福祉サービス利用援助（日常的金銭管理等）・相談事業・法人後見などを実施し、誰もが安心して地域の中で生活が続けられるよう支援を行った。また生活保護受給者を対象とした日常生活自立支援事業（福岡県社協受託事業）も引き続き実施した。

（日常生活自立支援事業／福岡県社協受託事業）

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
契 約 件 数 （件）	42	37	35
訪問支援件数（延件数）	1,172	978	872

（暮らしのサポートセンター事業）

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
契 約 件 数 （件）	38	48	53
訪問支援件数（延件数）	785	1,040	1,012

（法人後見事業）

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受 任 件 数 （件）	4	4	4
訪問支援件数（延件数）	90	176	144

2 不登校支援事業

- ・ 内 容 ⇨ 不登校の不安や悩みを共に考えていくことを通して、保護者自身が家庭におけるわが子とより良い関係を再構築できるように支援するサポーターの養成講座を実施した。

講師：長阿彌 幹生 氏（教育文化研究所代表）

(不登校に悩む保護者支援サポーター養成講座)

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施日・回数	令和2年11月 ～令和2年12月 (毎週金曜日・6回)	令和元年12月 ～令和2年2月 (隔週水曜日・6回)	平成30年12月 ～平成31年2月 (隔週火曜日・6回)
受講者延 人数(名)	66	111	81

(不登校講演会)

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施日	新型コロナウイルス感染 拡大により中止	7月27日(土) 12月22日(日)	7月8日(日) 2月24日(日)
参加者(名)	—	74	100

3 天拝いこいの館の運営

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開館日数	263	263	263
足湯利用者数(名)	251	2,488	2,194

※緊急事態宣言等により足湯は利用中止期間あり。

【4】事業内容(介護保険担当)

1 コミュニティヘルパー派遣事業(独自事業)

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、高齢者や障がい者、また突然の事故や病気で日常生活に手助けが必要になった方に対し、ホームヘルパーを派遣して、適切な家事援助や軽介護サービスを提供し、在宅生活の支援を行った。

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者実人数月平均(名)	7	6	5
年間利用者延人数(名)	443	264	91
年間利用者延人数月平均(名)	36	22	8

2 居宅介護支援事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられた利用者に対してケアプランまたは予防プランを作成してサービス事業者との調整を行った。

項 目 \ 年 度	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
月平均介護保険ケアプラン作成数（件）	73	77	85
年間介護保険ケアプラン作成数（件）	878	922	1,019
月平均介護予防ケアプラン作成数（件）	20	24	27
年間介護予防ケアプラン作成数（件）	234	283	321
年間ケアプラン総作成数（件）	1,112	1,205	1,340

※（ケアマネージャー数） （ 5 名） （ 6 名） （ 7 名）

3 訪問介護事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられ、ケアプランまたは予防プランで訪問介護を必要とする計画を立てられた利用者に対して、生活援助・身体介護・相談助言のサービスを行った。

項 目 \ 年 度	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
利用者実人数月平均（名）	75	80	90
年間利用者延人数（名）	5,952	6,594	7,907
年間利用者延人数月平均（名）	496	550	659

4 訪問入浴介護事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられ、ケアプランで訪問入浴介護を必要とする計画を立てられた利用者に対して、入浴設備を備えた訪問入浴車を自宅へ派遣し、入浴サービスを実施することにより身体の清潔を保ち、快適な在宅生活を支援した。

項 目 \ 年 度	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
利用者実人数月平均（名）	2	3	2
年間利用者延人数（名）	101	253	240
年間利用者延人数月平均（名）	9	21	20

※令和 2 年度は、死亡等に伴う利用者の入替があり、訪問入浴回数が減少している。

5 障害者等居宅介護事業（障害者総合支援法事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で身体障がい、知的障がいのある方（児童を含む）、精神障がいのある方のお宅にホームヘルパーを派遣し適切な家事及び介護等の日常生活の支援を行った。

項 目 \ 年 度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者実人数月平均（名）	42	43	49
年間利用者延人数（名）	2,980	3,003	3,788
年間利用者延人数月平均（名）	248	250	316

6 入浴サービス事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、重度の身体障がいのため自宅での入浴が困難な方に対して入浴設備を備えた訪問入浴車を自宅へ派遣し、入浴サービスを実施することにより身体の清潔を保ち、快適な在宅生活を支援した。

項 目 \ 年 度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者実人数月平均（名）	4	4	4
年間利用者延人数（名）	460	487	453
年間利用者延人数月平均（名）	38	41	38

7 訪問型サービスA派遣事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市介護予防・日常生活支援総合事業における、要支援認定もしくは事業対象者に対して、住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう生活援助のサービスを行った。

項 目 \ 年 度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者実人数月平均（名）	5	7	11
年間利用者延人数（名）	115	168	270
年間利用者延人数月平均（名）	10	14	23

8 「食」の自立支援事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、虚弱な高齢者若しくは心身に障がい有する方に対して、夕食の提供及び、一人暮らし高齢者の安否確認を目的として弁当配達を行った。また、ふれあいいきいきサロンの開催をお知らせするなど地域福祉活動との連携を図った。

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者実人数月平均（名）	92	123	150
年間総利用食数（食）	22,983	30,311	37,239
利用食数月平均（食）	1,915	2,526	3,103
利用食数1日平均（食）	63	83	102

※令和2年度は、新規利用者が20名あったが、従来からの利用者の入院・入所が多く配食数が減少している。

【5】事業内容（施設担当）

1 生活介護事業

- ・ 内 容 ⇨ 個別支援計画に基づき、利用者に応じた介助・支援を行った。

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
契 約 者 数(名)	20	19	20
年間利用者延人数(名)	3,046	3,106	3,203
年間開所日数(日)	241	240	240
1日平均利用者数(名)	12	13	13

2 地域生活支援事業（日中一時支援事業）

- ・ 内 容 ⇨ 夏休み等長期休暇中の障がい児を対象に、生活の安定を図り、自立や社会参加のための支援を行った。

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
契 約 者 数(名)	8	9	18
年間利用者延人数(名)	39	98	202
年間実施日数(日)	21	43	49

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、夏休みの日中一時支援事業を中止したことによる延人数及び実施日数の減となっている。

3 児童発達支援事業所「ちくしのスマイルキッズ」事業

- ・ 内 容 ⇨ 心身の発達において特別な配慮が必要と思われる未就学児に対し、基本的生活習慣の自立が図れるように、個別及び集団による日常生活に必要な機能訓練や生活指導を行った。

年 度 項 目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
契 約 者 数(名)	23	28	35
年間利用者延人数(名)	816	858	1,081
年 間 実 施 日 数(日)	166	193	238

※就学や就園等や新規利用相談数減に伴う契約者数の減となっている。

4 お楽しみ食事会（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 食事を通じての楽しみづくりとして、季節にあった食事会を実施した。
- ・ 実施日 ⇨
 - ・ 5月13日 春のいちご祭り
 - ・ 9月28日 おいもパーティー
 - ・ 11月18日 スタミナ焼肉パーティー
 - ・ 3月10日 チョコフォンデュパーティー

5 季節行事活動（生活介護事業）

4月⇒お花見（桜・チューリップ・藤） 5月⇒ちぎり絵で鯉のぼり作成
 6月⇒新緑散策 7月⇒七夕会 8月⇒園内夏祭り
 9月⇒秋の書道 10月⇒ハロウィン、秋のひまわり見学
 11月⇒秋の味覚（リンゴのコンポート） 12月⇒クリスマス会
 1月⇒成人祝い、鏡餅作り 2月⇒安の里わらかかし見学 3月⇒雛祭り

6 社会体験親睦バスハイク（生活介護事業）

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

7 地域社会参加（生活介護事業）

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

8 もちつき大会（生活介護事業）

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大のため、ボランティアとの園外での餅つきは中止
利用者のみ学園内で、もちつき大会（鏡餅作り）を実施
- ・ 実施日 ⇨ 1月6日（木）
参加者数⇨利用者10名

9 遠足（児童発達支援事業）

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止